

私は、人の笑顔を見るのが好きです。

長年、アルバイトをしながら、収入的には全く望めないこの演劇界に身を置いて、舞台に立、こ来たのもその理由からです。喜劇、悲劇、不条理劇、色々なジャンルの演劇に今まで参加して来ました。どの世界でも同じですが、演劇界もまた、他と同様に厳しい世界です。お客様から料金をいただき、一人でも多く満足して帰、こいただくには、日々、厳しい稽古を積んでいる事が重要です。ただ「芝居が好き」というだけや、自分自身が楽な部分で練習をしているだけでは、当たり前ですが全く成り立たない世界です。それだけに、観客に来てくれたお客様が、「良か、たよ。」

「楽しかったよ。」と言ってくれたその時の言葉と笑顔が、自分自身についても大きなエネルギーを与えてくれました。今でも心に残っているのは、「今日一日の仕事の疲れが吹き飛ぶ程、面白かったよ。」という言葉をもたらした時です。私はこういった精神はどの職種にも当てはまると思います。

これから私には、道は違えど、一人でも多くの人の喜びに対して全力を注ぎ、それを直に感じ取れる仕事を続けていくのが、私の夢です。